

設 計 概 要 書

次の工事を施工するための設計を行う。

【 工事名称 】

阿児健康福祉センター大規模改修工事

【 目的 】

経年劣化により老朽化した施設の躯体耐久性向上及び機能向上及び設備等機能・性能を確保する。
また、プール上部の躯体の剛性や強度が確保されていないため、補強又は部分撤去をするための検討。

【 施設 】

用途:保険・福祉施設

構造:SRC及びRC造 一部鉄骨造 耐火建築物

規模:地下 1 階 地上 3 階建

各階床面積: 1 階 2184.58 m² 2 階 1252.65 m²

敷地面積:4998.00 m²

3 階 1030.85 m²

延べ面積:4468.08 m²

建築面積:2416.23 m²

【 工事概要 】

◎ 『阿児健康福祉センター建物劣化度調査報告書』に基づく長寿命化型改善工事

◎ プール部分解体撤去又は改修更新についての比較検討。

◎ 建築工事

- 屋根:部分改修の上、長寿命化型改修
- 外壁:タイル部、浮き、ひび割れ等改修/塗装部、浮き、ひび割れ等長寿命化型改修 /シーリング更新
- 建具:ガラスシーリング更新/平面計画に基づく建具新設、改修等
- 内装:別紙用途に基づく全面改修/吹き抜け階段の改修
- 防火設備の更新

◎ 電気設備工事

- 受電設備の更新
- LED照明機器への更新

◎ 機械設備工事

- 空調調和設備の全体改修
- 衛生機器、給排水管の更新
- 消火設備の更新
- EVの更新

【 留意事項 】

◎ 建築基準法、消防法等の法令への適合性については、関係機関との協議を行い確認すること。

また、確認申請、消防関係申請書類等の作成すること。

◎ 改修方法については、施工性やコスト等を比較し、監督職員と協議すること。

◎ 用途等変更を伴う平面計画についても、既設間仕切りを有効活用し計画すること。

◎ 空調調和設備計画については、機器、方式を決定する際は、ライフサイクルコストの比較し監督職員に協議すること。

◎ 居ながら改修工事と施設の機能を停止し無人での解体・改修工事で完成する工程を安全性、施工性、経済性を比較し、仮設及び仮設事務所等を含め計画すること。